

令和3年度 学習案内 (シラバス)

教科	保健体育	学年	1	担当者	石間洋介・崎山愛 渡辺信一郎・三宅純子
----	------	----	---	-----	------------------------

◇保健体育科の目標

- 生活における健康・安全についての理解と各種運動の基本的な技能の習得
- 各種運動の課題解決に向けて思考し判断したことを他者に伝える能力の育成
- 健康の保持増進と体力の向上を目指し生涯にわたって運動に親しむ態度の育成

◇1年間の学習計画

月	学習内容	月	学習内容
4	体づくり運動 体育理論 *集団走・集団行動 *体力を高める運動	11	
5	*新体力テスト・持久走	12	球技Ⅱ *ソフトボール・バドミントン
6	武道 *柔道・剣道 ※1種目選択し3年間行う	1	陸上Ⅲ *長距離走 (トレーニング・3000mトライアル)
7	器械運動 *マット運動 水泳 *クロール・(平泳ぎ・バタフライ・背泳ぎ)	2	球技Ⅲ *バレーボール・ハンドボール
8	陸上Ⅰ	3	体育理論 保健 *心身の機能の発達と心の健康 健康な生活と疾病の予防
9	*短距離走・リレー		
10	陸上Ⅱ *走り幅跳び・ハードル走 球技Ⅰ ・ ダンス *サッカー・ダンス 入れ替わる。		

◇評価方法

	評価の観点 (身に付けたい力)	評価の方法
知識・技能	運動の合理的な実践を通して運動の基本的技能を身につけている。 学習した内容の知識やルール、運動・体力の必要性を理解している。	技能テスト 記録 定期テスト 学習カードの内容
思考・判断 表現	自らの課題を発見し、その解決に向けて適切に思考判断し、工夫して活動している。また、課題や作戦等、思考したことを他者に表現して伝えることができる。	授業中の行動 声かけの内容 カードの内容
主体的に学習に 取り組む態度	適した課題をもち、健康・安全に留意しながら、真剣な態度で自己の最善を尽くして取り組もうとしている。	大きな声、取り組み 行動の速さ、服装 提出物

◇学習のアドバイス

- ・種目の特性や自分に合った課題を理解し、**積極的**に取り組むこと。
- ・「どうしたらできるのか」具体的に工夫をして課題を解決すること。(カードに記述すること)
- ・得意な種目だけでなく、不得意な、苦しい種目に対しても粘り強く取り組み技能を向上させること。
- ・授業でやったことを十分に理解し、学習資料 (ビジュアル体育) を活用し知識を育むこと。

令和2年度 学習案内 (シラバス)

教科	保健体育	学年	2	担当者	高橋洋昭 落合和香奈 渡辺信一郎 崎山愛
----	------	----	---	-----	-------------------------

◇保健体育科の目標

- 生活における健康・安全についての理解と各種運動の基本的な技能の習得
- 各種運動の課題解決に向けて思考し判断したことを他者に伝える能力の育成
- 健康の保持増進と体力の向上を目指し生涯にわたって運動に親しむ態度の育成

◇1年間の学習計画

月	学習内容	月	学習内容
4	体づくり運動 体育理論 *集団走・集団行動 *体力を高める運動	11	
5	*新体力テスト・持久走	12	球技Ⅱ *ソフトボール・バドミントン ※どちらか選択
6	武道 *柔道・剣道 ※1種目選択し3年間行う	1	陸上Ⅲ *長距離走 (トレーニング・3000mトライアル)
7	器械運動 *跳び箱運動 水泳 *クロール・(平泳ぎ・バタフライ・背泳ぎ)	2	球技Ⅲ *バレーボール・ハンドボール
8	陸上Ⅰ	3	体育理論 保健 *傷害の防止 健康な生活と疾病の予防
9	*短距離走・リレー		
10	陸上Ⅱ *走り幅跳び・ハードル走 球技Ⅰ ・ ダンス *サッカー・ダンス 入れ替わる。		

◇評価方法

	評価の観点 (身に付けたい力)	評価の方法
知識・技能	運動の合理的な実践を通して運動の基本的技能を身につけている。 学習した内容の知識やルール、運動・体力の必要性を理解している。	技能テスト 記録 定期テスト 学習カードの内容
思考・判断 表現	自らの課題を発見し、その解決に向けて適切に思考判断し、工夫して活動している。また、課題や作戦等、思考したことを他者に表現して伝えることができる。	授業中の行動 声かけの内容 カードの内容
主体的に学習に 取り組む態度	適した課題をもち、健康・安全に留意しながら、真剣な態度で自己の最善を尽くして取り組もうとしている。	大きな声、取り組み 行動の速さ、服装 提出物

◇学習のアドバイス

- ・種目の特性や自分に合った課題を理解し、積極的に取り組むこと。
- ・「どうしたらできるのか」具体的に工夫をして課題を解決すること。(カードに記述すること)
- ・得意な種目だけでなく、不得意な、苦しい種目に対しても粘り強く取り組み技能を向上させること。
- ・授業でやったことを十分に理解し、学習資料 (ビジュアル体育) を活用し知識を育むこと。

令和3年度 学習案内 (シラバス)

教 科	保健体育	学 年	3	担当者	落合和香奈 高橋洋昭 崎山愛 石間洋介 三宅純子
-----	------	-----	---	-----	-----------------------------

◇保健体育科の目標

- 生活における健康・安全についての理解と各種運動の基本的な技能の習得
- 各種運動の課題解決に向けて思考し判断したことを他者に伝える能力の育成
- 健康の保持増進と体力の向上を目指し生涯にわたって運動に親しむ態度の育成

◇1年間の学習計画

月	学習内容	月	学習内容
4	体づくり運動 体育理論 *集団走・集団行動 *体力を高める運動	11	
5	*新体力テスト・持久走	12	球技Ⅱ *ソフトボール・バドミントン ※どちらか選択
6	武道 *柔道・剣道 ※1種目選択し3年間行う	1	陸上Ⅲ *長距離走 (トレーニング・3000mトライアル)
	器械運動 *マット運動・跳び箱運動 ※どちらか選択	2	球技Ⅲ *バレーボール・ハンドボール
7	水泳 *クロール・(平泳ぎ・バタフライ・背泳ぎ)	3	体育理論 保健 *健康と環境 健康な生活と疾病の予防
8	陸上Ⅰ		
9	*短距離走・リレー		
	陸上Ⅱ		
10	*走り幅跳び・ハードル走		
	球技Ⅰ ・ ダンス *サッカー・ダンス 入れ替わる。		

◇評価方法

	評価の観点 (身に付けたい力)	評価の方法
知識・技能	運動の合理的な実践を通して運動の基本的技能を身につけている。 学習した内容の知識やルールを理解し、生涯にわたって運動を実践するための運動・体力の必要性を理解している。	技能テスト 記録 定期テスト 学習カードの内容
思考・判断 表現	自らの課題を発見し、その解決に向けて適切に思考判断し、工夫して活動している。また、課題や作戦等、思考したことを他者に表現して伝えることができる。	授業中の行動 声かけの内容 カードの内容
主体的に学習に 取り組む態度	適した課題をもち、健康・安全に留意しながら、真剣な態度で、授業の中での役割に責任を持ち、意欲的に参画している。	大きな声、取り組み 行動の速さ、服装 提出物

◇学習のアドバイス

- ・種目の特性や自分に合った課題を理解し、自主的に取り組むこと。
- ・「どうしたらできるのか」具体的に工夫をして課題を解決すること。(カードに記述すること)
- ・得意な種目だけでなく、不得意な、苦しい種目に対しても粘り強く取り組み技能を向上させること。
- ・授業でやったことを十分に理解し、学習資料 (ビジュアル体育) を活用し知識を育むこと。

第1学年 保健体育科年間計画

月	単元 材名	時数	学 習 目 標	学 習 内 容	留 意 点	評 価 規 準		
						運動についての知識・理解	運動についての思考・判断	運動への関心・意欲・態度
4	体育に関する知識	1	・運動と心身の働きについて理解できるようにする。	体力・骨・筋肉・神経・持久力・調整力・意志	・図や模型等を使って具体的に分かり易く説明する。	・運動の特性と学び方、体ほぐし・体力の意義と運動の効果について理解するとともに、普段の生活の中での生かし方や、運動の心身における効果を理解し知識を身に付けている。	・運動の特性と学び方、体ほぐし・体力の意義と運動の効果について、運動の実践や生活と結びつけて考え工夫している。	・運動の特性と学び方、体ほぐし・体力の意義と運動の効果について関心を持ち、運動の実践や生活に生かそうと進んで学習に取り組もうとしている。
	体づくり運動	10	・自己の体に関心を持ち、自己の体力や生活に応じた課題を持って体ほぐしたり体力を高めたりすることができるようにする。	体ほぐし運動 体力を高める運動	・自分や仲間の体や心の状態に気付け、仲間と交流し、体の調子を調整させる。 ・自己の体力に応じた運動を工夫し体力を高めることができるようにさせる。	・体づくり運動の意義と行い方、運動の計画の立て方などを理解している。	・ねらいに応じて、体ほぐし、体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力を高めるための運動を組み合わせるとともに、学習課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。	・体づくり運動の楽しさや心地よさを味わうことができるよう、分担した役割を果たそうとすることなどや、健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。
	体育に関する知識	1	・体力測定の意義について理解できるようにする。	新体力テスト 測定する体力	・図や表等を使って具体的に分かり易く説明する。	・体力の意義と運動の効果について理解している	・体力の意義と運動の効果について、運動の実践や生活と結びつけて考え工夫している。	・体力の意義と運動の効果について関心を持ち、運動の実践や生活に生かそうと進んで学習に取り組もうとしている。
6	武道	8	《柔道》 柔道の特性や名称、学習上のきまりを理解し、楽しく練習や試合ができるようにする。 《剣道》 正しい姿勢や構えから、大きく伸び伸びした素振りや基本打突ができるようにする。 《柔道・剣道》 相手を尊重して、練習や試合ができるようにする。	《柔道》 受け身 固め技 約束練習 《剣道》 足さばき 礼法 構え 素振り 基本打突 打ち込み	・3年間続けることを知らせ、よく考えさせる。 ・教え合い、励まし合いを大事にする ・相手を尊重するという特性を生かした指導を通して日常での実践化を促す。 ・基本技能を、正確に身につけさせる。	○知識 ・試合では、個人、団体形式や体格別などを踏まえて判定の方法などを考えることができる。 ○技能 ・基本動作を正しく身に付け自分の得意な技能を身に付けられる。 ・得意技で相手の動きに対応した練習や試合をすることができる。	・武道の特性や学習の進め方、基本動作や対人技能の構造、自分や相手の課題にあった練習や試合の仕方、練習計画の立て方を知っている。 ・選択した種目の礼儀作法、試合の運営やルール、審判の方法を知っている。	・基礎的な技を習得し、相手の動きや技に応じた攻防や勝敗を競い合い、武道の楽しさや喜びを味わおうとする。 ・礼儀作法を重んじて相手を尊重し、自分で自分を律する態度をとろうとする。 ・用具や服装、練習場などの安全を確かめ、禁じ技を用いないなど、練習や試合をする上での安全に留意しようとする。
7								
9	器械運動 I	7	・既習の技の中から自己の能力に応じた技の学習ができるようにする。 ・課題解決のための練習の仕方を工夫し、教え合いながら活動できるようにする。 ・用具の準備や片づけが協力してできるようにする。	《マット運動》 前転 後転 開脚前転 開脚後転 倒立前転 側方倒立回転	・準備運動を十分に行い、事故防止に努める。 ・自分にあった目標を立てさせるようにする。 ・教え合い、補助し合う雰囲気をつくる。	○知識 ・器械運動の楽しみ方や、学習の進め方を知っている。 ・練習の仕方や場作りの方法、技の完成度の確かめ方を知っている。 ○技能 ・課題とする技を繰り返し練習したり、条件を変えたりして技の完成度を高めることができる。 ・できる技、新しく身につけた技を組み合わせ運動している。	・自分の能力に適した技を選び課題を持って練習を工夫し、取り組んでいる。 ・適切な練習の仕方や場作りの方法を選んだり、技の完成度を確かめたりしている。	・技がよくできたり、自分に適した新しい技を習得したりする器械運動の楽しさや喜びを味わおうとしている。 ・仲間と協力して教えあったり、練習の場を整えたり補助しあったりして進んで運動に取り組もうとしている。 ・器械・用具の安全確認、適切な場作りや補助など練習をする上での周囲の安全に気を配ろうとしている。
10	水泳	8	・プールの正しい使い方を理解することができるようにする。 ・泳ぎ方の基礎的技能を身につけ、安全に泳ぐことができるようにする。	・クロール 平泳ぎ ・能力別指導	・ルールやマナーを守らせ、安全に行わせる。 ・苦手な生徒への配慮をする	○知識 ・水泳の特性や学習の進め方、各泳法の技能構造を理解している。 ・水泳の事故防止の心得や練習場のルールを守るなど安全な行動の仕方を理解している。 ・競技のルール、審判の方法を知っている。 ○技能 ・選択した泳法の特性に応じた技能で泳ぐことができる。 ・自分の能力に適した技能について、動きのポイントを身に付け、技能を高め、続けて長く泳いだり、早く泳いだりすることができる。	・自分の能力に適した泳法を選択している。 ・続けて長く泳いだり、早く泳いだりするための目標記録や課題を設定している。 ・設定した課題を解決するための練習や競争の仕方を選んだりしている。	・続けて長く泳いだり、早く泳いだりあるいは競い合ったりなど水泳の楽しさや喜びを味わおうとしている。 ・仲間と協力し励ましあいながら進んで練習をしようとしている。 ・水泳の事故防止の心得や練習、運動をする上でのルールを守るなど健康安全に留意しようとしている。
	陸上競技 I	9	・自己の能力に応じて目標や課題を設定し練習できるようにする。 ・お互いに助言やアドバイスができるようにする。	ハードル走・走り幅跳び・走り高跳び 《ハードル》 ・50Mハードル ・踏み切り足・振り上げ足・デ IPP等のハードリング練習	・お互いのアドバイスを大事にする ・積極的に練習に取り組み、自己のハードリングの技術の向上が確認できる。 ・タイムを計ったり、友達と競争するなど積極的に練習に参加すること	○知識 ・種目の特性や学び方、技能の構造合理的な練習の仕方などを理解し、審判方法を身に付けている。 ・ルールを知っている。 ○技能	・自分の能力に適した課題を持ち、その解決を目指して練習の仕方や競技の仕方を工夫している。 ・課題解決のための効果的な練習の仕方を選んだり、記録の向上に合わせて効果的な練習の仕方や競技の仕方を選	・陸上競技の特性に関心を持ち、進んで取り組もうとする。 ・互いに協力しながら、公正な態度で安全に留意できる。 ・全力を出して競争したり、記録を向上させたりする楽しさや喜びを味わおうとする

1 1			<ul style="list-style-type: none"> スタートから第一ハードルへの入り方 インターバルの走り方 最終ハードルからフィニッシュラインまでの走り方 タイムの測定→課題解決練習《走り幅跳び・走り高跳び》 助走リズムと踏み切りのタイミング練習 空中動作と着地練習 記録測定→課題解決練習 	<p>ができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康観察をしっかり行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 種目の特性に応じた技能を身に付けるとともにその技能を高めたりすることができる。 自分の能力に適した技能について、動きのポイントを身に付ける。 	<p>んだり見つけたりしている。</p>		
	球技Ⅱ ゴール型	8	<ul style="list-style-type: none"> 基本技能を身につけ、ルールを覚えることができるようにする。 一人一人がチームの一員としての役割を果たし、お互いに協力して練習やゲームができるようにする。 	<p>《ハンドボール》 パス キャッチ シュート 4対4 ゲーム</p> <p>《サッカー》 キック ドリブル ボールコントロール 4対4 ゲーム</p> <p>《バスケットボール》 基本姿勢 シュート パス キャッチ ドリブル 3対3 ゲーム コンビネーション (攻守)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 個人個人に課題を持たせる。 リーダーを中心に協力させる。 チームは、等質グループとし、全員が楽しめる雰囲気をつくる。 教え合い、励まし合いを大事にする 	<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> 選択した種目の特性や学習の進め方、集団的な技能や個人的な技能の構造、合理的な練習の仕方、練習計画の立て方を知っている。 競技の運営やルールを知っている。 <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 今持っている技能を発揮してゲームを行うことができる。 チームや自分の能力に適した課題の練習やゲームを通して集団的スキルや個人的スキルを高めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 今持っている自分(相手チーム)や相手(相手チーム)の技能の程度を的確に把握し、それに適した作戦を立てている。 ゲームを通してチームや自分の課題を明らかにし、その課題の解決の仕方を選んでいく。 ゲームの結果から、チームや自分の課題を明らかにし、技能の向上に伴う新たな練習の仕方を選んだり作戦を立てたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ルールや作戦に応じて勝敗を競い合う球技の楽しさを味わおうとする。 チームに対する自分の役割を自覚して責任を果たしたり、教え合ったりして互いに協力しながら、進んで練習やゲームをしようとしている。 ルールを守り、審判の判定や指示に従い勝敗や結果を受け入れようとする。 施設、設備の安全や用具の管理が自分達でできるようにする。また、危険なプレイをしないで練習やゲームをするなど、健康安全に留意しようとする。
1	ダンス	1 0	<ul style="list-style-type: none"> 仲間と協力して楽しく動き、イメージを動きにして伸び伸び動くことができるようにする。 「くずし」を意識し、よりイメージを効果的に表現することができるようにする。 	<p>創作ダンス、リズムダンス ひと流れの動きひとまとまりの動き フォークダンス</p>	<ul style="list-style-type: none"> 恥ずかしがらずに楽しく踊れるような雰囲気をつくる。 既成の動きではなく、自分たちで考えたイメージを動きやリズムにする工夫を大事にする。 	<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ダンスについて、感じを込めて踊ったりみんなで踊ったりする楽しさや喜びを味わい、ダンスの特性や由来、表現の仕方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 創作ダンスでは、多様なテーマから表したいイメージを捉え、動きに変化を付けて即興的に表現したり、変化のあるひとまとまりの表現にしたりして踊ることができる。 フォークダンスでは、日本の民謡や外国の踊りから、それらの踊り方の特徴を捉え、音楽に合わせて特徴的なステップや動きで踊ることができる。 現代的なリズムのダンスでは、リズムの特徴を捉え、変化のある動きを組み合わせ、リズムに乗って全身で踊ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 表現などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ダンスに積極的に取り組もうとするとともに、仲間の学習を援助しようとする、交流などの話合いに参加しようとする、一人一人の違いに応じた表現や役割を認めようとするなど、健康・安全に気を配ったりしている。
	陸上競技Ⅱ	8	<ul style="list-style-type: none"> 走の基本的技能の定着を図ることができる。 スピードを生かしたバトンパスでリレーをすることができる。 	<p>短距離走・リレー ・クラウチングスタート ・バトンパス</p>	<ul style="list-style-type: none"> ルールやマナーを守らせ安全に行わせる。 分担した役割を果たせるようにする。 	<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> 技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 分担した役割に積極的に取り組み、練習や競技を円滑に進めようとする。 学習課題の解決に向けて仲間に助言したりしようとする。 体調の変化に気を配りながら、練習場の安全に留意し、体力に見合った運動量で練習しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> チームの課題に応じた練習方法を選んでいる。 分担した役割に応じた活動の仕方を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に取り組み、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わおうとしている。 ルールやマナーを守りフェアに競うことに取り組もうとしている。 楽しさや安全性、公平性を理解し取り組もうとしている。
3	陸上競技Ⅲ 長距離走	1 0	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に活動し、チームで声をかけあうことができるようにする。 目標タイム達成に向けて3000mを走りきれるペースの設定ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 3000Mタイムトライアル 時間走 長距離走の走り方、呼吸法 ペース配分 デッドポイント セカンドウィンド パートナーの役割、応援 	<ul style="list-style-type: none"> 自己の体の現状について理解させる。 ウォーミングアップの大切さや行い方について理解させる。 自己の体力の限界に挑戦させる。 仲間意識を持たせ、応援の大切さ必要性について理解させる。 走り終わった後の自己の体調管理や、整理運動の必要性について理解させる。 	<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> 長距離走の特性や学習の進め方及び自分の能力に適した課題の選び方それに合わせた練習や競技の仕方を知っている。 長距離走のルールを知っている。 <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 全力を出して競争したり、記録を向上させた陸上競技の楽しさや喜びを味わおうとしている。 互いに協力し、励ましあい、補助し合いながら進んで練習や競技を行おうとしている。 勝敗や記録の結果を公正な態度で受け入れている。 身体の調子や、練習場のなどの安全を確かめるなど、運動をする上での健康や安全に留意している。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の能力に適した目標記録や課題を設定している 課題解決のために効果的な練習の仕方を選んだり、記録の向上に合わせて効果的な練習の仕方や競技の仕方を工夫したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 全力を出して競争し、記録を向上させた陸上競技の楽しさや喜びを味わおうとしている。 互いに協力し、励ましあい、補助し合いながら進んで練習や競技を行おうとしている。 勝敗や記録の結果を公正な態度で受け入れている。 身体の調子や、練習場のなどの安全を確かめるなど、運動をする上での健康や安全に留意している

球技 I ネット型	8	<ul style="list-style-type: none"> 基本技能を身につけ、ルールを覚えることができるようにする。 一人一人がチームの一員としての役割を果たし、お互いに協力して練習やゲームができるようにする。 	<p>《バドミントン》 ロングハイサービス ショートサービス ストローク ゲーム</p> <p>《バレーボール》 オーバーパス アンダーパス サーブ スパイク ゲーム</p> <p>《ソフトテニス》 フォアハンドストローク バックハンドグラウンドストローク フラットサービス アンダーハンドサービス</p>	<ul style="list-style-type: none"> 個人個人に課題を持たせる。 リーダーを中心に協力させる。 チームは、等質グループとし、全員が楽しめる雰囲気をつくる。 教え合い、励まし合いを大事にする 	<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> 選択した種目の特性や学習の進め方、集団的な技能や個人的な技能の構造、合理的な練習の仕方、練習計画の立て方を知っている。 競技の運営方法やルールを知っている。 <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ルールや作戦に応じて勝敗を競い合う球技の楽しさを味わおうとする。 チームに対する自分の役割を自覚して責任を果たしたり、教え合ったりして互いに協力しながら、進んで練習やゲームをしようとしている。 ルールを守りフェアなプレイで、審判の判定や指示に従い勝敗や結果を受け入れようとする。 施設、設備の安全や用具の管理が自分達でできるようにする。また、危険なプレイをしないで練習やゲームをするなど、健康安全に留意しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 今持っている自分(チーム)や相手(相手チーム)の技能の程度を的確に把握し、それに応じた作戦を立てている。 ゲームを通してチームや自分の課題を明らかにし、その課題の解決の仕方を選んでいる。 ゲームの結果から、チームや自分の課題を明らかにし、技能の向上に伴う新たな練習の仕方を選んだり作戦を立てたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ルールや作戦に応じて勝敗を競い合う球技の楽しさを味わおうとする。 チームに対する自分の役割を自覚して責任を果たしたり、教え合ったりして互いに協力しながら、進んで練習やゲームをしようとしている。 ルールを守りフェアなプレイで、審判の判定や指示に従い勝敗や結果を受け入れようとする。 施設、設備の安全や用具の管理が自分達でできるようにする。また、危険なプレイをしないで練習やゲームをするなど、健康安全に留意しようとする。
球技 II ゴール型	8	<ul style="list-style-type: none"> 基本技能を身につけ、ルールを覚えることができるようにする。 一人一人がチームの一員としての役割を果たし、お互いに協力して練習やゲームができるようにする。 	<p>《ハンドボール》 パス キャッチ シュート 4対4 ゲーム</p> <p>《サッカー》 キック ドリブル ボールコントロール 4対4 ゲーム</p> <p>《バスケットボール》 基本姿勢 シュート パス キャッチ ドリブル 3対3 ゲーム コンビネーション(攻守)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 個人個人に課題を持たせる。 リーダーを中心に協力させる。 チームは、等質グループとし、全員が楽しめる雰囲気をつくる。 教え合い、励まし合いを大事にする 	<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> 選択した球技種目の特性や学び方技術の構造、合理的な練習の仕方を理解するとともに、競技や審判の方法を理解し、知識を身に付けている。 <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 球技の特性に関心を持ち、進んで取り組もうとする。 互いに協力しながら、公正な態度を取り安全に留意できる。 チームにおける自分の役割を自覚して、その責任を果たし、勝敗に対しても公正である。 	<ul style="list-style-type: none"> 今持っている自分(相手チーム)や相手(相手チーム)の技能の程度を的確に把握し、それに応じた作戦を立てている。 ゲームを通してチームや自分の課題を明らかにし、その課題の解決の仕方を選んでいる。 ゲームの結果から、チームや自分の課題を明らかにし、技能の向上に伴う新たな練習の仕方を選んだり作戦を立てたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ルールや作戦に応じて勝敗を競い合う球技の楽しさを味わおうとする。 チームに対する自分の役割を自覚して責任を果たしたり、教え合ったりして互いに協力しながら、進んで練習やゲームをしようとしている。 ルールを守り、審判の判定や指示に従い勝敗や結果を受け入れようとする。 施設、設備の安全や用具の管理が自分達でできるようにする。また、危険なプレイをしないで練習やゲームをするなど、健康安全に留意しようとする。
体育に関する知識	1	<ul style="list-style-type: none"> 体力の意義と運動の効果について理解できるようにする。 	<p>体力の意義と運動の効果 運動と体の動き</p>	<ul style="list-style-type: none"> 筋肉、骨格の働きや神経、肺や心臓の働きについて理解させる 個人の能力に合わせ、自己の課題に向かって努力させ、体ほぐしの意義と行い方を理解させる。 	<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> 運動の特性と学び方、体ほぐし・体力の意義と運動の効果について理解するとともに、普段の生活の中での生かし方や、運動の心身における効果を理解し知識を身に付けている 	<ul style="list-style-type: none"> 運動の特性と学び方、体ほぐし・体力の意義と運動の効果について、運動の実践や生活と結びつけて考え工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> 運動の特性と学び方、体ほぐし、体力の意義と運動の効果について関心を持ち、運動の実践や生活に生かそうと進んで学習に取り組もうとしている。
保健 心身の機能の発達と心の健康	16	<ul style="list-style-type: none"> からだの発達と、二次性徴の発現について理解できるようにする。 知的機能、感情・意志、社会性などの精神機能の発達について理解できるようにする。 心の健康や、欲求への対処について理解すると同時に、体ほぐし運動との関連を理解できるようにする。 	<p>からだの発育・発達 二次性徴の発現</p> <p>ことばの発達と知的機能 感情と意志の発達 社会性の発達</p> <p>欲求の発達 欲求不満 心とからだのかかわり</p>	<ul style="list-style-type: none"> 個人差や男女差について良く理解させる。 生活経験の影響を受けることや、その経験も個人によって違うことを理解させる。 心の健康を保つには、欲求不満の対処の仕方が重要であることを理解させる。 	<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> 年齢に伴う心身の各機関の発達や傾向、性差、個人差などがあることを知っている。 思春期に起こる心身の変化や思春期の生殖器官の成熟や自己の認識が深まる重要な時期であることを知っている。 心身の健康を保つため、心身の調和を保つことの大切さや、欲求のストレスに適切に対処する方法を知っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 心身の機能発達や心の健康などについて、自分の知識や経験等をもとに、問題点を見つけることができる 心身の機能の発達や心の健康などについて、資料などをもとに予想したり、整理したりすることができる 心身の機能の発達や心の健康などについて、学習したことを日常生活に当てはめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 心身の機能の発達や、心の健康などについて、自分の経験や、資料などをもとに、課題を見つけようとする。 心身の機能の発達や、心の健康について教科書などの資料から課題を解決するための情報を集めたり、課題について調べようとしている。 心身の健康の発達や、心の健康などについて、仲間の考えや意見を聞いたり、集めた資料を活用したりして、自分の意見を発表しようとしている。

2 学年 保健体育科年間計画

月	単元 題 材名	時数	学 習 目 標	学 習 内 容	留 意 点	評 価 規 準		
						運動についての知識・理解	運動についての思考・判断	運動への関心・意欲・態度
4	体育に関する知識	1	・運動と心身の働きについて理解できるようにする。	体力・骨・筋肉・神経・持久力・調整力・意志	・図や模型等を使って具体的に分かり易く説明する。	・運動の特性と学び方、体ほぐし・体力の意義と運動の効果について理解するとともに、普段の生活の中での生かし方や、運動の心身における効果を理解し知識を身に付けている。	・運動の特性と学び方、体ほぐし・体力の意義と運動の効果について、運動の実践や生活と結びつけて考え工夫している。	・運動の特性と学び方、体ほぐし・体力の意義と運動の効果について関心を持ち、運動の実践や生活に生かそうと進んで学習に取り組もうとしている。
5	体づくり運動	10	・自己の体に関心を持ち、自己の体力や生活に応じた課題を持って体ほぐしたり体力を高めたりすることができるようにする。	体ほぐし運動 体力を高める運動	・自分や仲間の体や心の状態に気付かせ、仲間と交流し、体の調子を整えさせる。 ・自己の体力に応じた運動を工夫し体力を高めることができるようにさせる。	・体づくり運動の意義と行い方、運動の計画の立て方などを理解している。	・ねらいに応じて、体ほぐし、体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力を高めるための運動を組み合わせたとともに、学習課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。	・体づくり運動の楽しさや心地よさを味わうことができるよう、分担した役割を果たそうとすることなどや、健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。
	体育に関する知識	1	・体力測定の意義について理解できるようにする。	新体力テスト 測定する体力	・図や表等を使って具体的に分かり易く説明する。	・体力の意義と運動の効果について理解している	・体力の意義と運動の効果について、運動の実践や生活と結びつけて考え工夫している。	・体力の意義と運動の効果について関心を持ち、運動の実践や生活に生かそうと進んで学習に取り組もうとしている。
6	武道	8	《柔道》 柔道の特性や名称、学習上のままりを理解し、楽しく練習や試合ができるようにする。 《剣道》 正しい姿勢や構えから、大きく伸び伸びした素振りや基本打突ができるようにする。 《柔道・剣道》 相手を尊重して、練習や試合ができるようにする。	《柔道》 受け身 固め技 約束練習 《剣道》 足さばき 礼法 構え 素振り 基本打突 打ち込み	・3年間続けることを知らせ、よく考えさせる。 ・教え合い、励まし合いを大事にする ・相手を尊重するという特性を生かした指導を通して日常での実践化を促す。 ・基本技能を、正確に身につけさせる。	○知識 ・試合では、個人、団体形式や体格別などを踏まえて判定の方法などを考えることができる。 ○技能 ・基本動作を正しく身に付け自分の得意な技能を身に付けられる。 ・得意技で相手の動きに対応した練習や試合をすることができる。	・武道の特性や学習の進め方、基本動作や対人技能の構造、自分や相手の課題にあった練習や試合の仕方、練習計画の立て方を知っている。 ・選択した種目の礼儀作法、試合の運営やルール、審判の方法を知っている。	・基礎的な技を習得し、相手の動きや技に応じた攻防や勝敗を競い合い、武道の楽しさや喜びを味わおうとする。 ・礼儀作法を重んじて相手を尊重し、自分で自分を律する態度をとろうとする。 ・用具や服装、練習場などの安全を確かめ、禁じ技を用いないなど、練習や試合をする上での安全に留意しようとする。
7								
9	器械運動 I	7	・既習の技の中から自己の能力に応じた技の学習ができるようにする。 ・課題解決のための練習の工夫を工夫し、教え合いながら活動できるようにする。 ・用具の準備や片づけが協力してできるようにする。	《マット運動》 前転 後転 開脚前転 開脚後転 倒立前転 側方倒立回転	・準備運動を十分に行い、事故防止に努める。 ・自分にあった目標を立てさせるようにする。 ・教え合い、補助し合う雰囲気をつくる。	○知識 ・器械運動の楽しみ方や、学習の進め方を知っている。 ・練習の仕方や場作りの方法、技の完成度の確かめ方を知っている。 ○技能 ・課題とする技を繰り返し練習したり、条件を変えたりして技の完成度を高めることができる。 ・できる技、新しく身につけた技を組み合わせで運動している。	・自分の能力に適した技を選び課題を持って練習を工夫し、取り組んでいる。 ・適切な練習の仕方や場作りの方法を選んだり、技の完成度を確かめたりしている。	・技がよくできたり、自分に適した新しい技を習得したりする器械運動の楽しさや喜びを味わおうとしている。 ・仲間と協力して教えあったり、練習の場を整えたり補助しあったりして進んで運動に取り組もうとしている。 ・器械・用具の安全確認、適切な場作りや補助など練習をする上での周囲の安全に気を配ろうとしている。
	水泳	8	・プールの正しい使い方を理解することができるようにする。 ・泳ぎ方の基礎的技能を身につけ、安全に泳ぐことができるようにする。	・クロール 平泳ぎ ・能力別指導	・ルールやマナーを守らせ、安全に行わせる。 ・苦手な生徒への配慮をする	○知識 ・水泳の特性や学習の進め方、各泳法の技能構造を理解している。 ・水泳の事故防止の心得や練習場のルールを守るなど安全な行動の仕方を理解している。 ・競技のルール、審判の方法を知っている。 ○技能 ・選択した泳法の特性に応じた技能で泳ぐことができる。 ・自分の能力に適した技能について、動きのポイントを身に付け、技能を高め、続けて長く泳いだり、早く泳いだりすることができる。	・自分の能力に適した泳法を選択している。 ・続けて長く泳いだり、早く泳いだりする目標記録や課題を設定している。 ・設定した課題を解決するための練習や競争の仕方を選んだりしている。	・続けて長く泳いだり、早く泳いだりあるいは競い合ったりなど水泳の楽しさや喜びを味わおうとしている。 ・仲間と協力し励ましあいながら進んで練習をしようとしている。 ・水泳の事故防止の心得や練習、運動をする上でのルールを守るなど健康安全に留意しようとしている。

10	陸上競技Ⅰ	9	<ul style="list-style-type: none"> 自己の能力に応じて目標や課題を設定し練習できるようにする。 お互いに助言やアドバイスができるようにする。 	<p>ハードル走・走り幅跳び・走り高跳び</p> <p>《ハードル》</p> <ul style="list-style-type: none"> 50Mハードル 踏み切り足・振り上げ足・ディップ等のハードリング練習 スタートから第一ハードルへの入り方 インターバルの走り方 最終ハードルからフィニッシュラインまでの走り方 タイムの測定→課題解決練習《走り幅跳び・走り高跳び》 助走リズムと踏み切りのタイミング練習 空中動作と着地練習 記録測定→課題解決練習 	<ul style="list-style-type: none"> お互いのアドバイスを大事にする 積極的に練習に取り組み、自己のハードリングの技術の向上が確認できる タイムを計ったり、友達と競争するなど積極的に練習に参加することができる 健康観察をしっかり行う。 	<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> 種目の特性や学び方、技能の構造合理的な練習の仕方などを理解し、審判方法を身に付ける。 ルールを知っている。 <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 種目の特性に応じた技能を身に付けるとともにその技能を高めたりすることができる。 自分の能力に適した技能について、動きのポイントを身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の能力に適した課題を持ち、その解決を目指して練習の仕方や競技の仕方を工夫している。 課題解決のための効果的な練習の仕方を選んだり、記録の向上に合わせて効果的な練習の仕方や競技の仕方を選んだり見つけたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 陸上競技の特性に関心を持ち、進んで取り組もうとする。 互いに協力しながら、公正な態度で安全に留意できる。 全力を出して競争したり、記録を向上させたりする楽しさや喜びを味わおうとする
11	球技Ⅱ ゴール型	8	<ul style="list-style-type: none"> 基本技能を身につけ、ルールを覚えることができるようにする。 一人一人がチームの一員としての役割を果たし、お互いに協力して練習やゲームができるようにする。 	<p>《ハンドボール》</p> <p>パス キャッチ シュート 4対4 ゲーム</p> <p>《サッカー》</p> <p>キック ドリブル ボールコントロール 4対4 ゲーム</p> <p>《バスケットボール》</p> <p>基本姿勢 シュート パス キャッチ ドリブル 3対3 ゲーム コンビネーション(攻守)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 個人個人に課題を持たせる。 リーダーを中心に協力させる。 チームは、等質グループとし、全員が楽しめる雰囲気をつくる。 教え合い、励まし合いを大事にする 	<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> 選択した種目の特性や学習の進め方、集団的な技能や個人的な技能の構造、合理的な練習の仕方、練習計画の立て方を知っている。 競技の運営やルールを知っている。 <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 今持っている技能を發揮してゲームを行うことができる。 チームや自分の能力に適した課題の練習やゲームを通して集団的な技能や個人的技能を高めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 今持っている自分(相手チーム)や相手(相手チーム)の技能の程度を的確に把握し、それに適した作戦を立てている。 ゲームを通してチームや自分の課題を明らかにし、その課題の解決の仕方を選んでいる。 ゲームの結果から、チームや自分の課題を明らかにし、技能の向上に伴う新たな練習の仕方を選んだり作戦を立てたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ルールや作戦に応じて勝敗を競い合う球技の楽しさを味わおうとする。 チームに対する自分の役割を自覚して責任を果たしたり、教え合ったりして互いに協力しながら、進んで練習やゲームをしようとしている。 ルールを守り、審判の判定や指示に従い勝敗や結果を受け入れようとする。 施設、設備の安全や用具の管理が自分達でできるようにする。また、危険なプレイをしなくて練習やゲームをするなど、健康安全に留意しようとする。
12	ダンス	10	<ul style="list-style-type: none"> 仲間と協力して楽しく動き、イメージを動きにして伸び伸び動くことができるようにする。 「くずし」を意識し、よりイメージを効果的に表現することができるようにする。 	<p>創作ダンス、リズムダンス ひと流れの動きひとまとまりの動き</p> <p>フォークダンス</p>	<ul style="list-style-type: none"> 恥ずかしがらずに楽しく踊れるような雰囲気をつくる。 既成の動きではなく、自分たちで考えたイメージを動きやリズムにする工夫を大事にする。 	<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ダンスについて、感じを込めて踊ったりみんなで踊ったりする楽しさや喜びを味わい、ダンスの特性や由来、表現の仕方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 創作ダンスでは、多様なテーマから表現したいイメージを捉え、動きに変化を付けて即興的に表現したり、変化のあるひとまとまりの表現にしたりして踊ることができる。 フォークダンスでは、日本の民謡や外国の踊りから、それらの踊り方の特徴を捉え、音楽に合わせて特徴的なステップや動きで踊ることができる。 現代的なリズムのダンスでは、リズムの特徴を捉え、変化のある動きを組み合わせ、リズムに乗って全身で踊ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 表現などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ダンスに積極的に取り組もうとするとともに、仲間の学習を援助しようとする、交流などの話合いに参加しようとする、一人一人の違いに応じた表現や役割を認めようとするなどしたり、健康・安全に気を配ったりしている。
2	陸上競技Ⅱ	8	<ul style="list-style-type: none"> 走の基本的技能の定着を図ることができる。 スピードを生かしたバトンパスでリレーをすることができる。 	<p>短距離走・リレー</p> <ul style="list-style-type: none"> クラウチングスタート バトンパス 	<ul style="list-style-type: none"> ルールやマナーを守らせ安全に行わせる。 分担した役割を果たせるようにする。 	<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> 運動の特性や成り立ち、課題に応じた運動の取り組み方を工夫することができる。 <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 全走者の合図と次走者のスタートのタイミングを合わせたバトンパスができる。 	<ul style="list-style-type: none"> チームの課題に応じた練習方法を選んでいる。 分担した役割に応じた活動の仕方を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に取り組み、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わおうとしている。 ルールやマナーを守りフェアに競うことに取り組もうとしている。 楽しさや安全性、公平性を理解し取り組もうとしている。
3	陸上競技Ⅲ 長距離走	10	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に活動し、チームで声をかけあうことができるようにする。 目標タイム達成に向けて3000mを走りきれぬペースの設定ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 3000Mタイムトライアル 時間走 長距離走の走り方、呼吸法 ペース配分 デッドポイント セカンドウィンド パートナーの役割、応援 	<ul style="list-style-type: none"> 自己の体の現状について理解させる。 ウォーミングアップの大切さや行い方について理解させる。 自己の体力の限界に挑戦させる。 仲間意識を持たせ、応援の大切さ必要性について理解させる。 走り終わった後の自己の体調管理や、整理運動の必要性について理解させる。 	<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> 長距離走の特性や学習の進め方及び自分の能力に適した課題の選び方それに合わせた練習や競技の仕方を知っている。 長距離走のルールや競技の審判の方法を知っている。 <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 長距離走の特性に応じた技能で、練習や競技をすることができる。 自分の能力に適した技能について、動きのポイントを身に付け、その技能を高め、競技したり記録を高めたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の能力に適した目標記録や課題を設定している 課題解決のために効果的な練習の仕方を選んだり、記録の向上に合わせて効果的な練習の仕方や競技の仕方を工夫したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 全力を出して競争し、記録を向上させた陸上競技の楽しさや喜びを味わおうとしている。 互いに協力し、励ましあい、補助し合いながら進んで練習や競技を行おうとしている。 勝敗や記録の結果を公正な態度で受け入れている。 身体の調子や、練習場のなどの安全を確認するなど、運動をする上での健康や安全に留意している
3								

球技Ⅰ ネット型	8	<ul style="list-style-type: none"> 基本技能を身につけ、ルールを覚えることができるようにする。 一人一人がチームの一員としての役割を果たし、お互いに協力して練習やゲームができるようにする。 	<p>《バドミントン》 ロングハイサーブ ショートサーブ ストローク ゲーム</p> <p>《バレーボール》 オーバーパス アンダーパス サーブ スパイク ゲーム</p> <p>《ソフトテニス》 フォアハンドストローク バックハンドグラウンドストローク フラットサーブ アンダーハンドサーブ</p>	<ul style="list-style-type: none"> 個人個人に課題を持たせる。 リーダーを中心に協力させる。 チームは、等質グループとし、全員が楽しめる雰囲気をつくる。 教え合い、励まし合いを大事にする 	<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> 選択した種目の特性や学習の進め方、集団的な技能や個人的な技能の構造、合理的な練習の仕方、練習計画の立て方を知っている。 競技の運営やルールを知っている。 <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 今持っている技能を発揮してゲームを行うことができる。 チームや自分の能力に適した課題の練習やゲームを通して集団的技能や個人的技能を高めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 今持っている自分(チーム)や相手(相手チーム)の技能の程度を的確に把握し、それに応じた作戦を立てている。 ゲームを通してチームや自分の課題を明らかにし、その課題の解決の仕方を選んでいく。 ゲームの結果から、チームや自分の課題を明らかにし、技能の向上に伴う新たな練習の仕方を選んだり作戦を立てたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ルールや作戦に応じて勝敗を競い合う球技の楽しさを味わおうとする。 チームに対する自分の役割を自覚して責任を果たしたり、教え合ったりして互いに協力しながら、進んで練習やゲームをしようとしている。 ルールを守りフェアなプレイで、審判の判定や指示に従い勝敗や結果を受け入れようとする。 施設、設備の安全や用具の管理が自分達でできるようにする。また、危険なプレイをしないで練習やゲームをするなど、健康安全に留意しようとする。
球技Ⅱ ゴール型	8	<ul style="list-style-type: none"> 基本技能を身につけ、ルールを覚えることができるようにする。 一人一人がチームの一員としての役割を果たし、お互いに協力して練習やゲームができるようにする。 	<p>《ハンドボール》 パス キャッチ シュート 4対4 ゲーム</p> <p>《サッカー》 キック ドリブル ボールコントロール 4対4 ゲーム</p> <p>《バスケットボール》 基本姿勢 シュート パス キャッチ ドリブル 3対3 ゲーム コンビネーション(攻守)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 個人個人に課題を持たせる。 リーダーを中心に協力させる。 チームは、等質グループとし、全員が楽しめる雰囲気をつくる。 教え合い、励まし合いを大事にする 	<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> 選択した種目の特性や学習の進め方、集団的な技能や個人的な技能の構造、合理的な練習の仕方、練習計画の立て方を知っている。 競技の運営やルールを知っている。 <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 今持っている技能を発揮してゲームを行うことができる。 チームや自分の能力に適した課題の練習やゲームを通して集団的技能や個人的技能を高めることができる 	<ul style="list-style-type: none"> 今持っている自分(相手チーム)や相手(相手チーム)の技能の程度を的確に把握し、それに応じた作戦を立てている。 ゲームを通してチームや自分の課題を明らかにし、その課題の解決の仕方を選んでいく。 ゲームの結果から、チームや自分の課題を明らかにし、技能の向上に伴う新たな練習の仕方を選んだり作戦を立てたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ルールや作戦に応じて勝敗を競い合う球技の楽しさを味わおうとする。 チームに対する自分の役割を自覚して責任を果たしたり、教え合ったりして互いに協力しながら、進んで練習やゲームをしようとしている。 ルールを守り、審判の判定や指示に従い勝敗や結果を受け入れようとする。 施設、設備の安全や用具の管理が自分達でできるようにする。また、危険なプレイをしないで練習やゲームをするなど、健康安全に留意しようとする。
体育に関する知識	1	<ul style="list-style-type: none"> 体力の意義と運動の効果について理解できるようにする。 	<p>体力の意義と運動の効果 運動と体の動き</p>	<ul style="list-style-type: none"> 筋肉、骨格の働きや神経、肺や心臓の働きについて理解させる 個人の能力に合わせ、自己の課題に向かって努力させ、体ほぐしの意義と行い方を理解させる。 	<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> 運動の特性と学び方、体ほぐし・体力の意義と運動の効果について理解するとともに、普段の生活の中での生かし方や、運動の心身における効果を理解し知識を身に付けている 	<ul style="list-style-type: none"> 運動の特性と学び方、体ほぐし・体力の意義と運動の効果について、運動の実践や生活と結びつけて考え工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> 運動の特性と学び方、体ほぐし、体力の意義と運動の効果について関心を持ち、運動の実践や生活に生かそうと進んで学習に取り組もうとしている。
保健 健康な生活と病気の予防 傷害の防止	16	<ul style="list-style-type: none"> 心の健康や、欲求への対処について理解すると同時に、体ほぐし運動との関連を理解できるようにする。 けがの原因や、交通事故の原因について理解し、安全な行動がとれるようにする。 応急処置の仕方について理解できるようにする。 	<p>けがとその防止</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通事故の原因とその防止 けがの応急処置 人工呼吸法 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の日常生活に目を向けさせ、安全な行動をとることの大切さを理解させる。 	<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> 心身の健康を保つため、心身の調和を保つことの大切さや、欲求のストレスに適切に対処する方法を知っている。 自然災害及び交通事故などによる障害の発生要因やその防止対策、応急手当の意義や手順について、課題解決を通して科学的に理解し、日常生活の課題解決に役立つ知識を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 心身の機能の発達や心の健康などについて、学習したことを日常生活に当てはめることができる。 自然災害及び交通事故などによる障害の発生要因やその防止対策、応急手当について自分の知識や経験、資料、仲間の意見や考えなどを基に、科学的に考え、選択すべき行動を判断できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 心身の健康の発達や、心の健康などについて、仲間の考えや意見を聞いたり、集めた資料を活用したりして、自分の意見を発表しようとしている。 自然災害及び交通事故などによる障害の発生要因やその防止対策、応急手当について関心を持ち、仲間と協力して資料を集めたり、意見を交換したりしながら課題を見つけ、意欲的に学習しようとしている。

第3学年 保健体育科年間計画

月	単元 題名	時数	学 習 目 標	学 習 内 容	留 意 点	評 価 規 準		
						運動についての知識・理解	運動についての思考・判断	運動への関心・意欲・態度
4	体育に関する知識	1	・運動と心身の働きについて理解できるようにする。	体力・骨・筋肉・神経・持久力・調整力・意志	・図や模型等を使って具体的に分かり易く説明する。	・運動の特性と学び方、体ほぐし・体力の意義と運動の効果について理解するとともに、普段の生活の中での生かし方や、運動の心身における効果を理解し知識を身に付けている。	・運動の特性と学び方、体ほぐし・体力の意義と運動の効果について、運動の実践や生活と結びつけて考え工夫している。	・運動の特性と学び方、体ほぐし、体力の意義と運動の効果について関心を持ち、運動の実践や生活に生かそうと進んで学習に取り組もうとしている。
	体づくり運動	10	・自己の体に関心を持ち、自己の体力や生活に応じた課題を持って体ほぐしたり体力を高めたりすることができるようにする。	体ほぐし運動 体力を高める運動	・自分や仲間の体や心の状態に気付かせ、仲間と交流し、体の調子を調整させる。 ・自己の体力に応じた運動を工夫し体力を高めることができるようにさせる。	・体づくり運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解し、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。	・ねらいに応じて、体ほぐし、体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力を高めるための運動を組み合わせるとともに、学習課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。	・体づくり運動の楽しさや心地よさを味わうことができるよう、分担した役割を果たそうとすることなどや、健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。
	体育に関する知識	1	・体力測定の意義について理解できるようにする。	新体力テスト 測定する体力	・図や表等を使って具体的に分かり易く説明する。	・運動の特性と学び方、体力の意義と運動の効果について理解するとともに、生活の中での生かし方や、運動の心身にわたる効果を理解し、知識を身に付けている。	・体力の意義と運動の効果について、運動の実践や生活と結びつけて考え工夫している。	・体力の意義と運動の効果について関心を持ち、運動の実践や生活に生かそうと進んで学習に取り組もうとしている。
6	武道	8	《柔道》 柔道の特性や名称、学習上のきまりを理解し、楽しく練習や試合ができるようにする。 《剣道》 正しい姿勢や構えから、大きく伸び伸びした素振りや基本打突ができるようにする。 《柔道・剣道》 相手を尊重して、練習や試合ができるようにする。	《柔道》 受け身 固め技 約束練習 《剣道》 足さばき 礼法 構え 素振り 基本打突 打ち込み	・3年間続けることを知らせ、よく考えさせる。 ・教え合い、励まし合いを大事にする ・相手を尊重するという特性を生かした指導を通して日常での実践化を促す。 ・基本技能を、正確に身につけさせる。	○知識 ・武道の特性や学習の進め方、基本動作や対人技能の構造、自分や相手の課題にあった練習や試合の仕方、練習計画の立て方を知っている。 ・選択した種目の礼儀作法、試合の運営やルール、審判の方法を知っている。 ○技能 ・基本動作を正しく身に付け、自分の得意な技能を身に付けられる。 ・得意技で相手の動きに対応した練習や試合をすることができる	・武道の特性や学習の進め方、基本動作や対人技能の構造、自分や相手の課題にあった練習や試合の仕方、練習計画の立て方を知っている。 ・選択した種目の礼儀作法、試合の運営やルール、審判の方法を知っている。	・基礎的な技を習得し、相手の動きや技に応じた攻防や勝敗を競い合い、武道の楽しさや喜びを味わおうとする。 ・礼儀作法を重んじて相手を尊重し、自分で自分を律する態度をとうとうとする。 ・用具や服装、練習場などの安全を確かめ、禁じ技を用いないなど、練習や試合をする上での安全に留意しようとする。
7	器械運動 I	7	・既習の技の中から自己の能力に応じた技の学習ができるようになる。 ・課題解決のための練習の工夫を工夫し、教え合いながら活動できるようにする。 ・用具の準備や片づけが協力してできるようにする。	《マット運動》 前転 後転 開脚前転 開脚後転 倒立前転 側方倒立回転	・準備運動を十分に行い、事故防止に努める。 ・自分にあつた目標を立てさせるようにする。 ・教え合い、補助し合う雰囲気をつくる。	○知識 ・器械運動の楽しみ方や、学習の進め方、技の系、技群、グループの構成などの技の系統性や発展性を知っている。 ・練習の仕方や場作りの方法、練習計画の立て方や技の完成度の確かめ方を知っている。 ○技能 ・技がよくできたり、自分に適した新しい技を習得したりする器械運動の楽しさや喜びを味わおうとしている。 ・仲間と協力して教えあつたり、練習の場を整えたり補助しあつたりして進んで運動に取り組もうとしている。 ・器械・用具の安全を確かめ、適切な場作りや補助など練習をする上での周囲の安全に気を配ろうとしている。	・自分の能力に適した技を選び課題を持って練習を工夫し、取り組んでいる。 ・適切な練習の仕方や場作りの方法を選んだり、技の完成度を確かめたりしている。	・技がよくできたり、自分に適した新しい技を習得したりする器械運動の楽しさや喜びを味わおうとしている。 ・仲間と協力して教えあつたり、練習の場を整えたり補助しあつたりして進んで運動に取り組もうとしている。 ・器械・用具の安全確認、適切な場作りや補助など練習をする上での周囲の安全に気を配ろうとしている。
10	水泳	8	・プールの正しい使い方を理解することができるようにする。 ・泳ぎ方の基礎的スキルを身に付け、安全に泳ぐことができるようにする。	・クロール 平泳ぎ ・能力別指導	・ルールやマナーを守らせ、安全に行わせる。 ・苦手な生徒への配慮をする	○知識 ・特性や学び方、各泳法の技術の構造、合理的な練習の仕方などを理解している。 ・水泳の事故防止の心得を実践に結びつけて理解し、知識を身に付けている。 ○技能 ・水泳の特性に関心を持ち、楽しさや喜びを味わえるように進んで取り組もうとする。 ・互いに協力して練習ができるようにするとともに水泳の事故防止に関する心得を守り、健康、安全に留意して練習しようとする。	・自分の能力に適した泳法を選択している。 ・続けて長く泳いだり、早く泳いだりするなどの目標記録や課題を設定している。 ・設定した課題を解決するための練習や競争の仕方を選んだりしている。	・続けて長く泳いだり、早く泳いだりあるいは競い合つたりなど水泳の楽しさや喜びを味わおうとしている。 ・仲間と協力し励ましあいながら進んで練習しようとしている。 ・水泳の事故防止の心得や練習、運動をする上でのルールを守るなど健康安全に留意しようとしている。
	陸上競技 I	9	・自己の能力に応じて目標や課題を設定し練習できるようにする。	ハードル走・走り幅跳び・走り高跳び	・お互いのアドバイスを大事にする ・積極的に練習に取り組み、自己のハ	○知識 ・種目の特性や学び方、技能の構造合理的な練	・自分の能力に適した課題を持ち、その解決を目指して練習の仕方や競技の	・陸上競技の特性に関心を持ち、進んで取り組もうとする。

1	1		<ul style="list-style-type: none"> お互いに助言やアドバイスができるようにする。 	<p>《ハードル》</p> <ul style="list-style-type: none"> 50Mハードル 踏み切り足・振り上げ足・デ IPP等のハードリング練習 スタートから第一ハードルへの入り方 インターバルの走り方 最終ハードルからフィニッシュラインまでの走り方 タイムの測定→課題解決練習《走り幅跳び・走り高跳び》 助走リズムと踏み切りのタイミング練習 空中動作と着地練習 記録測定→課題解決練習 	<ul style="list-style-type: none"> ードリングの技術の向上が確認できる。 タイムを計ったり、友達と競争するなど積極的に練習に参加することができる。 健康観察をしっかり行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 習の仕方などを理解し、審判方法を身に付ける。 ルールを知っている。 ○技能 陸上競技の特性に関心を持ち、進んで取り組もうとする。 互いに協力しながら、公正な態度で安全に留意できる。 全力を出して競争したり、記録を向上させたりする楽しさや喜びを味わおうとする 	<ul style="list-style-type: none"> 仕方を工夫している。 課題解決のための効果的な練習の仕方を選んだり、記録の向上に合わせて効果的な練習の仕方や競技の仕方を選んだり見つけたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 互いに協力しながら、公正な態度で安全に留意できる。 全力を出して競争したり、記録を向上させたりする楽しさや喜びを味わおうとする 	
1	2	球技Ⅱ ゴール型	8	<ul style="list-style-type: none"> 基本技能を身につけ、ルールを覚えることができるようにする。 一人一人がチームの一員としての役割を果たし、お互いに協力して練習やゲームができるようになる。 	<p>《ハンドボール》</p> <p>パス キャッチ シュート</p> <p>4対4 ゲーム</p> <p>《サッカー》</p> <p>キック ドリブル</p> <p>ボールコントロール</p> <p>4対4 ゲーム</p> <p>《バスケットボール》</p> <p>基本姿勢 シュート パス</p> <p>キャッチ ドリブル</p> <p>3対3 ゲーム</p> <p>コンビネーション(攻守)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 個人個人に課題を持たせる。 リーダーを中心に協力させる。 チームは、等質グループとし、全員が楽しめる雰囲気をつくる。 教え合い、励まし合いを大事にする 	<ul style="list-style-type: none"> ○知識 選択した球技種目の特性や学び方技術の構造、合理的な練習の仕方理解するとともに、競技や審判の方法を理解し、知識を身に付けている。 ○技能 球技の特性に関心を持ち、進んで取り組もうとする。 互いに協力しながら、公正な態度を取り安全に留意できる。 チームにおける自分の役割を自覚して、その責任を果たし、勝敗に対しても公正である。 	<ul style="list-style-type: none"> 今持っている自分(相手チーム)や相手(相手チーム)の技能の程度を的確に把握し、それに応じた作戦を立てている。 ゲームを通してチームや自分の課題を明らかにし、その課題の解決の仕方を選んでいる。 ゲームの結果から、チームや自分の課題を明らかにし、技能の向上に伴う新たな練習の仕方を選んだり作戦を立てたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ルールや作戦に応じて勝敗を競い合う球技の楽しさを味わおうとする。 チームに対する自分の役割を自覚して責任を果たしたり、教え合ったりして互いに協力しながら、進んで練習やゲームをしようとしている。 ルールを守り、審判の判定や指示に従い勝敗や結果を受け入れようとする。 施設、設備の安全や用具の管理が自分達でできるようにする。また、危険なプレイをしないで練習やゲームをするなど、健康安全に留意しようとする。
1	1	ダンス	10	<ul style="list-style-type: none"> 仲間と協力して楽しく動き、イメージを動きにして伸び伸び動くことができるようにする。 「くずし」を意識し、よりイメージを効果的に表現することができるようにする。 	<p>創作ダンス、リズムダンス ひと流れの動きひとまとまりの動き</p> <p>フォークダンス</p>	<ul style="list-style-type: none"> 恥ずかしがらずに楽しく踊れるような雰囲気をつくる。 既成の動きではなく、自分たちで考えたイメージを動きやリズムにする工夫を大事にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○知識 ダンスについて、感じを込めて踊ったりみんなて踊ったりする楽しさや喜びを味わい、ダンスの特性や由来、表現の仕方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ○技能 創作ダンスでは、多様なテーマから表したいイメージを捉え、動きに変化を付けて即興的に表現したり、変化のあるひとまとまりの表現にしたりして踊ることができる。 フォークダンスでは、日本の民踊や外国の踊りから、それらの踊り方の特徴を捉え、音楽に合わせて特徴的なステップや動きで踊ることができる。 現代的なリズムのダンスでは、リズムの特徴を捉え、変化のある動きを組み合わせ、リズムに乗って全身で踊ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 表現などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ダンスに積極的に取り組もうとするとともに、仲間の学習を援助しようとする、交流などの話合いに参加しようとする、一人一人の違いに応じた表現や役割を認めようとするなどをして、健康・安全に気を配ったりしている。
2		陸上競技Ⅱ	8	<ul style="list-style-type: none"> 走の基本的技能の定着を図ることができる。 スピードを生かしたバトンパスでリレーをすることができる。 	<p>短距離走・リレー</p> <p>クラウチングスタート</p> <p>バトンパス</p>	<ul style="list-style-type: none"> ルールやマナーを守らせ安全に行わせる。 分担した役割を果たせるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○知識 運動の特性や成り立ち、課題に応じた運動の取り組み方を工夫することができる。 ○技能 全走者の合図と次走者のスタートのタイミングを合わせたバトンパスができる。 	<ul style="list-style-type: none"> チームの課題に応じた練習方法を選んでいる。 分担した役割に応じた活動の仕方を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に取り組み、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わおうとしている。 ルールやマナーを守りフェアに競うことに取り組もうとしている。 楽しさや安全性、公平性を理解し取り組もうとしている。
3	3	陸上競技Ⅲ 長距離走	10	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に活動し、チームで声をかけあうことができるようにする。 目標タイム達成に向けて3000mを走りきれぬペースの設定ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 3000Mタイムトライアル 時間走 長距離走の走り方、呼吸法 ペース配分 デッドポイント セカンドウィンド パートナーの役割、応援 	<ul style="list-style-type: none"> 自己の体の現状について理解させる。 ウォーミングアップの大切さや行い方について理解させる。 自己の体力の限界に挑戦させる。 仲間意識を持たせ、応援の大切さ必要性について理解させる。 走り終わった後の自己の体調管理や、整理運動の必要性について理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○知識 長距離走の特性や学習の進め方及び自分の能力に適した課題の選び方それに合わせた練習や競技の仕方を知っている。 長距離走のルールや競技の審判の方法を知っている。 ○技能 長距離走の特性に応じた技能で、練習や競技をすることができる。 自分の能力に適した技能について、動きのポイントを身に付け、その技能を高め、競技したり記録を高めたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の能力に適した目標記録や課題を設定している 課題解決のために効果的な練習の仕方を選んだり、記録の向上に合わせて効果的な練習の仕方や競技の仕方を工夫したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 全力を出して競争し、記録を向上させた陸上競技の楽しさや喜びを味わおうとしている。 互いに協力し、励ましあい、補助し合いながら進んで練習や競技を行おうとしている。 勝敗や記録の結果を公正な態度で受け入れている。 身体の調子や、練習場のなどの安全を確かめるなど、運動をする上での健康や安全に留意している

球技Ⅰ ネット型	8	<ul style="list-style-type: none"> 基本技能を身につけ、ルールを覚えることができるようにする。 一人一人がチームの一員としての役割を果たし、お互いに協力して練習やゲームができるようにする。 	<p>《バドミントン》 ロングハイサービス ショートサービス ストローク ゲーム</p> <p>《バレーボール》 オーバーパス アンダーパス サーブスパイク ゲーム</p> <p>《ソフトテニス》 フォアハンドストローク バックハンドグラウンドストローク フラットサービス アンダーハンドサービス</p>	<ul style="list-style-type: none"> 個人個人に課題を持たせる。 リーダーを中心に協力させる。 チームは、等質グループとし、全員が楽しめる雰囲気をつくる。 教え合い、励まし合いを大事にする 	<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> 選択した種目の特性や学習の進め方、集団的な技能や個人的な技能の構造、合理的な練習の仕方、練習計画の立て方を知っている。 競技の運営やルールを知っている。 <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 今持っている技能を発揮してゲームを行うことができる。 チームや自分の能力に適した課題の練習やゲームを通して集団的技能や個人的技能を高めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 今持っている自分(チーム)や相手(相手チーム)の技能の程度を的確に把握し、それに応じた作戦を立てている。 ゲームを通してチームや自分の課題を明らかにし、その課題の解決の仕方を選んでいく。 ゲームの結果から、チームや自分の課題を明らかにし、技能の向上に伴う新たな練習の仕方を選んだり作戦を立てたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ルールや作戦に応じて勝敗を競い合う球技の楽しさを味わおうとする。 チームに対する自分の役割を自覚して責任を果たしたり、教え合ったりして互いに協力しながら、進んで練習やゲームをしようとしている。 ルールを守りフェアなプレイで、審判の判定や指示に従い勝敗や結果を受け入れようとする。 施設、設備の安全や用具の管理が自分達でできるようにする。また、危険なプレイをしないで練習やゲームをするなど、健康安全に留意しようとする。
球技Ⅱ ゴール型	8	<ul style="list-style-type: none"> 基本技能を身につけ、ルールを覚えることができるようにする。 一人一人がチームの一員としての役割を果たし、お互いに協力して練習やゲームができるようにする。 	<p>《ハンドボール》 パス キャッチ シュート 4対4 ゲーム</p> <p>《サッカー》 キック ドリブル ボールコントロール 4対4 ゲーム</p> <p>《バスケットボール》 基本姿勢 シュート パス キャッチ ドリブル 3対3 ゲーム コンビネーション(攻守)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 個人個人に課題を持たせる。 リーダーを中心に協力させる。 チームは、等質グループとし、全員が楽しめる雰囲気をつくる。 教え合い、励まし合いを大事にする 	<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> 選択した種目の特性や学習の進め方、集団的な技能や個人的な技能の構造、合理的な練習の仕方、練習計画の立て方を知っている。 競技の運営やルールを知っている。 <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 今持っている技能を発揮してゲームを行うことができる。 チームや自分の能力に適した課題の練習やゲームを通して集団的技能や個人的技能を高めることができる 	<ul style="list-style-type: none"> 今持っている自分(相手チーム)や相手(相手チーム)の技能の程度を的確に把握し、それに応じた作戦を立てている。 ゲームを通してチームや自分の課題を明らかにし、その課題の解決の仕方を選んでいく。 ゲームの結果から、チームや自分の課題を明らかにし、技能の向上に伴う新たな練習の仕方を選んだり作戦を立てたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ルールや作戦に応じて勝敗を競い合う球技の楽しさを味わおうとする。 チームに対する自分の役割を自覚して責任を果たしたり、教え合ったりして互いに協力しながら、進んで練習やゲームをしようとしている。 ルールを守り、審判の判定や指示に従い勝敗や結果を受け入れようとする。 施設、設備の安全や用具の管理が自分達でできるようにする。また、危険なプレイをしないで練習やゲームをするなど、健康安全に留意しようとする。
体育に関する知識	1	<ul style="list-style-type: none"> 体力の意義と運動の効果について理解できるようにする。 	<p>体力の意義と運動の効果 運動と体の動き</p>	<ul style="list-style-type: none"> 筋肉、骨格の働きや神経、肺や心臓の働きについて理解させる 個人の能力に合わせ、自己の課題に向かって努力させ、体ほぐしの意義と行い方を理解させる。 	<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> 運動の特性と学び方、体ほぐし・体力の意義と運動の効果について理解するとともに、普段の生活の中での生かし方や、運動の心身における効果を理解し知識を身に付けている 	<ul style="list-style-type: none"> 運動の特性と学び方、体ほぐし・体力の意義と運動の効果について、運動の実践や生活と結びつけて考え工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> 運動の特性と学び方、体ほぐし、体力の意義と運動の効果について関心を持ち、運動の実践や生活に生かそうと進んで学習に取り組もうとしている。
保健 健康な生活と病気の予防 健康と環境	16	<ul style="list-style-type: none"> 感染症や成人病の原因とその予防について理解できるようにする。 喫煙・飲酒・薬物乱用と健康について理解できるようにする。 運動・食事と健康について理解できるようにする。 疲労とその回復について理解できるようにする。 個人と集団の健康について理解できるようにする。 身体对环境に対する適応能力・至適範囲について理解できるようにする。 空気や飲料水の衛生的管理について理解できるようにする。 生活に伴う廃棄物の衛生的管理について理解できるようにする。 	<p>我が国の病気 主体 環境 ・感染源 感染経路</p> <p>三大死因 生活習慣 エイズ ニコチン・タール等 依存症</p> <p>現代生活 生涯スポーツ エネルギー 基礎代謝 疲労の種類 休養・睡眠 保健所</p> <p>体温調節 環境適応能力 至適温度 気温 湿度 気流 適切な明るさ 騒音 空気 水の役割 廃棄物とその処理 公害</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自分の日常生活に目を向けさせ、安全な行動をとることの大切さを理解させる。 病気の原因を良くつかみ、自分の生活についてよく考えさせる。 自分の生活と結びつけて学習し、中学生として望ましい生活ができるよう意識させる。 人間には環境に適応する能力があること、それには限界があることを知らせる。そのために環境を整える必要があることを理解させる。 	<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然災害及び交通事故などによる障害の発生要因やその防止対策、応急手当について、課題解決を通して科学的に理解し、日常生活の課題解決に役立つ知識を身に付けている。 人間の健康は環境と深く関わって成立しており、身体には環境に対する適応能力があることを理解する。 空気・飲料水の衛生的管理や廃棄物の適切な処理が必要であることを科学的に理解し、日常生活の課題解決に役立つ知識を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自然災害及び交通事故などによる災害の発生要因やその防止対策、応急手当について自分の知識や経験、資料、仲間の意見や考えなどを基に、科学的に考え、選択すべき行動を判断できる。 身体对环境に対する適応能力、空気・飲料水の衛生的管理や廃棄物の適切な処理と人間の健康について、自分の知識や経験、資料、仲間のいけんや考えなどを基に課題を設定し、適切な課題解決の方法を考え、判断できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自然災害及び交通事故などによる障害の発生要因やその防止対策、応急手当について関心を持ち、仲間と協力して資料を集めたり、意見を交換したりしながら課題を見つけ、意欲的に学習しようとしている。 身体对环境に対する適応能力、空気・飲料水の衛生的管理や廃棄物の適切な処理と人間の健康について関心を持とうとしている。 仲間と協力して資料を集めたり、意見を交換したりしながら課題を見つけ、意欲的に学習しようとしている。